

---

# 水氷一族

水氷さん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

水氷一族

### 【NZコード】

N1254Y

### 【作者名】

水氷さん

### 【あらすじ】

ワンピースの世界で暮らしていた 主人公がNARUTOの世界へ！！

## プロローグ

ある所に少女が立っていました

少女の名前は 水氷 しえみ

しえみが見ている方向には 光があつた  
しえみは光に引き寄せられて行く

? 「またよ・・・ 別れも無しで行くのかよーしえみー！」

しえみ「・・・」

? 「おーいーー！」

しえみ「・・・？」

? 「返事しろよーー！」

しえみは 無言で光の方へ歩いていく

? 「またよーー！ 僕達二人で 海賊になつて海賊王の宝ーー。  
ワンピースを取りに行くんだろーー！」

しえみ「じゃあね・・・ テラお兄ちゃんーー！」

テラ「ああ やつと 名前呼んでもらえたーー つて 違ーーうー。  
！」

しえみは 光の中へ 飛び込んだ

ズズズズズズズズ・・・

トラ「えっちょ・・・まつ・・・何でだアアアアアアアアアア」

トラは 強制的に光に飲み込まれた

## キャラ設定（前書き）

キャラ設定をやつま～す

## キャラ設定

名前 水氷 しえみ

性別 女

性格 とても寂しがりや 友達に相手にされないとイタズラする 結構慎重

容姿 身長はナルトより2センチ低い 瞳の色 青 髪の色 青

髪の長さは 肩の少し下らへん (前髪をなくすと男の子と間違えられる)

水氷一族について・・・ 水と氷を自在に操ることができ  
る 基本的に水を硬くしたり軟らかくしたりする(氷も同じ)

入り操る ある技では 自分が相手の中に水として

相手の術を使うことができる!  
(しえみは まだ使えません)

趣味 トラップ作り(イタズラ)

読書 (恋愛 以外)

## 転生してから・・・数年後（前書き）

作者「赤ちゃんのときは、やつません……」

しえみ「なんで??」

作者「質問は、受け付けません」

しえみ「ひどい・・・」

作者「私（作者）が キャラクター化する」とあります

しえみ「もつ……いい……前書きを終わりいいい

転生してから・・・数年後

しえみは今ある屋敷にいる・・・今、しえみは3歳だ

？「君がしえみ？俺は、水氷 カイガ・・・6歳」

しえみ「・・・」

カイガ「はあ・・・つまり 俺は水氷一族」

しえみ「・・・？」

カイガ「お前の実の兄だ！」

しえみ「・・・！」

カイガ「無言か・・・」

カイガは しえみの無言が嫌なようだ

そしてしばらく無言が続いた・・・

しえみ「あの・・・」

カイガ（しゃべつた・・・）

しえみ「スイギュウいじ族て・・・」

カイガ「?????・・・!ふざけてる??」

しえみ「・・・・」(泣)

カイガ「・・・・（言葉がつまく話せないのか？）」

しえみは何かの術の印を結ぶ

しれみ『體』いれる。』

カイガ「えっと・・・頭に直接  
声が聞こえて気持ち悪い・・・」

しえみ『吐かないでね』

カイガ 一 きほぢわ うう オエエエエエエ

しえみ一 吐くなああああああ!! 水遁 水龍!!

カイガは  
水龍の餌食となり  
流されてしまつた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1254y/>

---

水氷一族

2012年1月8日18時52分発行